

# はじめまして



循環器科

あきはらしんご  
笠原真悟先生

本年5月より循環器科として隔週の土曜日にお世話になっております。

平成元年に北里大学を卒業後、主に先天性心疾患の外科治療に携わってきました。卒後10年を契機に先天性心疾患の外科治療で有名でありました、岡山大学の佐野教授の門をたたき平成11年に岡山大学に赴任いたしました。

その後1年のオーストラリアでの研修の後、約5年間ニュージーランドのオークランドにあるグリーンレーン病院で外科医として働いておりました。この病院は世界でも心臓手術の発祥の地として知られており、現在でも世界中から多くの外科医が研修に来るところであります。その場所外科医として執刀の機会が与えられたことは自分の人生の中でも大きな出来事で、家族にとってもその後の人世に大きく影響しております。

そのまま海外での生活が続く予定でありましたが、縁あって再び岡山大学に呼ばれ、先天性

心疾患外科医として働くことになりました。准教授として教育、研究、臨床と日々過ごしておりますが、平成25年に心血管外科に寄付講座が立ち上がり、教授として任されることになりました。この講座は自分の今までの仕事の内容とは180度異なり、高齢社会医療・介護機器研究推進講座というものであります。現代のニーズにのり、様々な問題に立ち向かうものです。幸いなことにそれまでの研究から、自宅でも通常のインターネットの環境で心拍、呼吸、心電図をモニタリングすることを確立しておりましたので、そこをさらに進めて皆様もたれているスマートフォンにもアプリとして組み込むことに成功しました。この詳細に関してはまた、『今後の在宅および遠隔医療』と題していつかお話しする機会ができればと考えており、以前にも高尾理事長にお話をいたしました。いずれにしても講座ができあがった直後に、岡山市の介護特区事業の一つである、最新介護機器レンタル事業に採用され、現在も岡山市の要介護者の方々に在宅モニタリングとして利用していただいております。また、この機器が茨城県にも採用され、全県でこの機器を使用した在宅、遠隔医療モニタリングの整備が進みつつあります。

さらには海外にもこの機器が取り入れられつつあり、特に日本以上に高齢化率の進行が早い東南アジア、とりわけベトナムで岡山東ライオンズクラブの方々と訪問し、親好を深めました。本年3月にこの機器の説明

会と高齢者医療に関するシンポジウムをベトナムのハノイで開催させていただきました。この会には岡山県の国会議員であります達沢一郎先生にも参加していただき、盛大な会になりました。

以上の様に講座を任され、様々な人たちとの出会いとともに、自分の人生の幅を広げております。その中で思うことは、やはり自分は患者さんたちと向き合っていく臨床医であると感じております。またそのようなしている時間がとてもうれしく感じております。

大学ではほぼ毎日、先天性心疾患の手術を行い、手術室と集中治療室を行き交う生活をしており、朝晩は講座の高齢者問題について考えております。

隔週ではありますが土曜日にここ、倉敷平成病院で主に高齢者の循環器疾患の診療に携わることができ、とてもうれしく感じております。循環器、特に先天性心疾患さらには在宅および遠隔医療に関していつでもご相談いただければ幸いです。

まだ勤務してから時間が浅いですが、倉敷平成病院の高尾理事長はじめ先生方やスタッフの皆様との勢いを感じております。病院のチーム医療の一員として参加できれば幸いに存じます。

今後ともよろしくお願いたします。

笠原先生は、第2・4週土曜日午前の循環器科外来を担当されています。

Doctor's Eyes